

Application for Participation

Associated Schools Project (ASP) for Promoting International Education

地域に愛着をもち、学び続ける子の育成

Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution

(please use extra sheets if necessary)

1 Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校はこれまでも校区の特色ある要素、具体的には環境にやさしい交通手段である路面電車、地産地消の象徴である「市」、人権擁護を実践する施設である「総合福祉センター（あいトピア）、障害者福祉会館（さくらピア）」を活用することで、地域に愛着をもてる子どもの育成を行ってきた。さらに地域を知り、地域に学び持続発展可能な社会づくりの担い手を育む教育（ESD）を推進しようと考えた。

ESDを確実に推進するために、全職員で学習を深め共通理解をしていく必要がある。これまでの教育課程を見直し、生活科・総合的な学習の時間を中心に児童会活動とも関連させたESDプログラムを作成し、活動のねらいや系統性を明確にして実践を行っていくこととした。

このESDプログラムを基に継続実践していくことで、将来にわたって地域のよさに気づき、地域への誇りと愛着を育んでいくことができると考えている。

2 Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、ESDの取り組みを「環境」「食」「人権」の3つの観点で学習していく。

学校の南の道路に路面電車が通っており、地域の人々の交通手段になっている。この路面電車について考える学習から「環境学習」へとつなげていく。

また、学校の東側の道路沿いで3と8のつく日に「市」が開かれており、地域の人たちでにぎわっている。この「市」の見学や買い物体験から「食」についての学習へとつなげていく。

車いす体験やお年寄りとの交流体験の場である、「あいトピア」「さくらピア」への見学を通して「福祉・人権学習」へと発展させていく。

これらの学習を柱に学校行事・児童会活動と関連させ、活動のねらいを明確にして取り組んでいくことが、持続発展可能な社会づくりの担い手を育むことにつながっていくと捉えている。

そのために本校では、以下の4つの活動を実施している。

(1) 環境学習「ぼくら市電探検隊」 environment

- ・市電の乗車体験をする。
- ・市電の車庫見学と豊橋鉄道の方から市電についての話を聞く活動

(2) 食の学習「三八市のひみつをさぐる」 食 domestic foods

- ・「三八の市」の見学
- ・「三八の市」での買い物体験
- ・「三八の市」の出店者、利用者へのインタビュー

食の学習「野菜を育てよう・梅ジュースを作って味わおう」 食 domestic foods

- ・野菜の苗を植える。
- ・野菜の観察をする。
- ・梅を収穫をして、梅ジュースを作り、全校のみんなに飲んでもらう。

(3) 福祉学習「ハートフル旭」 welfare and human right

- ・車いす体験をする。
- ・アイマスク体験をする。
- ・「さくらピア」と「あいトピア」の見学
- ・障害のある方の話を聞く活動

(4) 地域との関わりを強める活動

- ・「こいのぼり運動会」, 「学芸会」, 「ひなまつり集会」, 授業参観

3 Execution (プロジェクトの実施)

本校では、これらESDに資する3つ「環境」「食」「人権」の主題は、すべての学年の通常カリキュラムの中に位置づけられている。1年と2年は生活科で、3年以上では総合的な学習の時間の中で実施されている。そして、各学年の年次計画により実施されている。

・教育課程に位置づけてあるESDプログラム

教科領域 月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
生活科 1年	「元気に育て、サツマイモ」15時間 										
生活科 2年	「夏野菜を育てよう・梅ジュースを作ろう」25時間 				「冬野菜を育てよう」17時間 						
総合 3年	「三八市のひみつをさがろう」24時間 										
総合 4年	「ぼくら市電探検隊」20時間 										
総合 5年	「ハートフル旭」35時間 										
総合 6年	「旭の環境を見つめよう」35時間 										

・行事と関連づけたもの

- 全学年 5月「こいのぼり運動会」
11月「学芸会」
4月・10月・2月「道徳の授業参観」

・児童会活動と関連づけたもの

- 全学年 10月「530運動」
2月「ひなまつり集会」

(1) ぼくら市電探検隊

4年総合的な学習

- ・市電についての調べ学習や乗車体験をしたり，車庫の見学，未来の市電を考える学習をしたりする。その中で，市電が環境にやさしい乗り物であり，豊橋の交通に欠かせないものであること，多くの人が運営に努力していることに気づく。



4年「乗車体験」



4年「車庫の見学」

(2) 3年総合的な学習「三八市のひみつをさぐろう」

- ・「三八の市」を見学したり，実際に買い物をしたりする。さらに三八の市の出店者や利用者にインタビューすることを通して，「市」の歴史や地産地消の意義について学習を深めていく。

3年「出店者へのインタビュー」



(3) 2年生活科「野菜を育てよう・梅ジュースを作ろう」

- ・夏野菜（トマト，キュウリ，ナスなど）や冬野菜（ダイコン，ニンジンなど）を育てることを通して，野菜の生長過程や世話の大切さなどを学習する。



2年「梅の収穫」



2年「夏野菜を育てよう」

(4) ハートフル旭

5年総合的な学習「ハートフル旭」

・地域の施設、「あいトピア」「さくらピア」の見学をすることで、施設に関わっている方々や障害のある方々との交流を通して、思いやりの気持ちを培うような学習をしていく。活動の中で車椅子体験や手話の学習も行っていく。



5年「車椅子体験」



5年「手話学習」

(5) 地域との関わりを強める活動

・学校と地域との連携を強めるため、主な行事に保護者はもとより地域住民も積極的に招き、学校での取り組みの成果を発表している。



「ひなまつり集会」



1年「お年寄りとの交流会」

4 Type of materials to be used (使用する教材)

「いきいきせいかつ」 啓林館

「小学校キャリア教育の手引き」, 文部科学省, 2011・5月

「かがやく豊橋」 平成24年4月1日発行 編集 豊橋市立小学校社会科副読本研修委員会

5 Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes?

(プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

児童の理解と姿勢の評価は、以下のように行う。

- ・児童の活動への取り組みの成果を事後のまとめや感想、発表から把握する。
- ・学習や活動のまとめとして、授業公開や作品展示、行事等での成果の発表から、関心・意欲・態度・考え方の変容等を観察し評価する。

上記の評価と共に、さらに下記のことを実施して、ESD活動のさらなる充実を図る。

- ・学校評議員を通じた地域からの評価や、全保護者を対象としたアンケート調査等からESD活動の充実を図る。
- ・児童の実態や地域の特色にそったカリキュラムになるように、今年度の実践を基にESDプログラムを見直し、活動内容の改善を図る。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

Date (日付)

Principal's name (校長名 (※直筆))

Position, (役職)

Institution's name (学校名)

